



平成19年度

教育関係の主な取組み

○学校の安心安全対策

学校や通学路における安心安全対策として、「子ども見守り隊」の活動、安全マップによる各地域の危険箇所の特徴や新入学児童の「防犯ブザーの配布」を継続して実施します。また、学校・幼稚園の遊具や体育用具の一斉点検を行います。

○いじめ・不登校問題

いじめ・不登校問題については平成19年度も重点課題として、全校体制による取組みを行うとともに、教職員研修の実施や各学校に専属の教育相談員を配置することにより問題解決に努めます。

○学力の向上

学力の問題では、基礎・基本を身に付けさせ

幼稚園での英語教室



るとともに、学ぶ意欲や自ら考える力などの「確かな学力」を育むための指導を継続して実施します。

英語教育では、引き続き民間委託方式を取り入れ、幼稚園や小・中学校において、より効果的な英語教育の推進を図ります。

○特別支援教育

障害児教育の転換となる特別支援教育については、平成19年度全国一斉開始になります。県からの地域指定事業を継続して行うとともに、学校生活支援員を適正に配置し、集団生活での支援と社会的自立に向けた指導を行います。また、特別支援教育のスタートに伴い、地域住民や大学生などによる、学校サポートボランティアを登録・活用する仕組みを導入したいと考えています。

○豊かな心の育成

幼稚園教育への取組みとして、遊びを中心とした集団生活の中で、豊かな体験を得させるとともに、幼児期にふさわしい道徳性の芽生えを培うように指導したいと考えています。

○生涯学習の充実

「まさきふれあい学園」の各種講座の内容や生涯学習の機会の充実を図るとともに、「町民企画講座」を引き続き実施し、この講座をとおして住民の皆さんと町の協働による公民館の活性化に努めます。

また、昨年に引き続き、年齢の異なる子ども

たちが集団生活や地域の方々との係わりの中で、自主性・協調性を身につけることができるよう、学校をはじめPTAや関係団体と連携を図りながら「通学合宿」を実施します。

○人権教育

平成17年度から文部科学省の指定を受けている「人権教育総合推進地域」事業の研究発表の年であり、学校・地域と連携を図りながら、より一層人権・同和教育の推進に取り組みます。

○男女共同参画社会づくり

内閣府が掲げている意欲と能力のある女性が社会で活躍し、男性もゆとりある生き方をめざす「暮らしの構造改革」の実現に向けて、チャレンジ活動支援事業を推進するとともに、男女共同参画社会の実現に向けて、積極的に推進します。

○社会体育の推進

健康で心豊かな人づくりをめざして、町民の多様化するニーズに対応し、生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進に努めます。

○文化芸術の振興

芸術・文化に対する町民の皆さんの関心と理解を深めていただくために、さまざまな自主事業を展開して、すべての人が豊かな文化を享受できる文化環境の推進に努めます。